TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

エフェソの信徒への手紙―恵みのスペクトル　何が見えますか

エフェソの信徒への手紙 2 章 11－22 節

2025 年 9 月 27 日 & 28 日
ジェシー・マーク・セザリオ　牧師

TBC ウエスト・トウキョウ、TBC 三郷、スバおよびトンガ・バプテスト教会含め、私たちと共に礼拝している皆さんにご挨拶申し上げます。父なる神と主イエス・キリストの恵みと平安が、皆さんと共にありますように！
祈りましょう。
エフェソの信徒への手紙 2:11－22

はじめに
数週間前、VBS が行われました。今年のテーマは「ブレーカー　ロック　ビーチ（Breaker Rock Beach）」についてでした。この「ブレーカー　ロック」というテーマがどのようなものかご存知ですか。
メインのテーマ曲の歌詞にはこうあります：
岩がある　それは時の試練のように　風と波が立ち、　そして波は常に砕けるところ　岩がある、私たちが人生を据えることができるところ
彼の名はイエス・キリスト
イエスは岩です。

集会のリーダーでありホストとして、私は VBS にふさわしい服装をしたいと思いました。実のところ、衣装を決めるまでに時間がかかりました。海賊を思い浮かべましたが、違うなと思いました。「ベイウォッチ Baywatch」（アメリカの TV ドラマ、赤い水着のライフガードの話）も考えましたが、あり得ないと思いました。さらに灯台守の男性が着るような大きな黄色いレインコートも考えましたが、猛暑の中でそのような格好をしたら死んでしまうだろうと思いました。
最終的に沿岸警備隊の制服に決めました。その中で、妻は「トップ・ガン」に出てくるようなサングラスをつけることを提案しました。問題は、度が入っているレイバンサングラスを入手するにはかなり費用が掛かるため、使い捨てのコンタクトレンズと、似たようなサングラスを購入することにして解決です！

視力検査技師のところに行くと、自動的に視力を測定し、自分に合った商品を示してくれる機械を使いました。過去にコンタクトを購入した経験があったので、その機械では正しく自分の両目の度数を決定することは出来ないと知っていました。私の眼の形は少し変わっているからです。
最初に提示された組み合わせは全く合いませんでした。そのため、VBS の最初の数日間は、左目の視野の全てが 2 重に見えてしまいました。これはかなり不快でした。

私は再度視力検査技師のところに行き、状況を伝えました。すると彼女は、私に合うものを見極めるために、古典的な方法で調べ始めました。
大きな金属のフレームのような眼鏡に、代わる代わるレンズをはめては回転させ、私の眼の形に合わせようとしました。「こっちが良いですか？それともこっち？」と聞きながら。
しばらくその作業に時間を費やしました。私が「こっちの方が良いです」と言う度に違うコンタクトレンズを試しましたが、やはり 2 重に見えてしまいました。
とうとう私は「自分で調整しても良いですか」と聞きました。彼女はためらいましたが、どうぞ、と言いました。既に閉店時間を 5 分過ぎていたので、彼女は時計を気にしていたのだと思います。

最終的に私は、より弱い度数のレンズを自分のやり方で回転させながら調整しました・・・検査技師は「あら、それは変ですね。あなたは両方のレンズをちょうど 10 度ずつ反対方向にずらしていますね。」と言いました。しかしそれは私にとって完璧でした。2 重に見えることもなくなり、ようやく私は見えるようになりました。完璧な視野を得ました。

あなたはどうですか。あなたの見え方はどうですか。より具体的に言うと、あなたの教会のビジョンは何でしょうか。

パウロは、教会の形成について、教会の構築について、そして教会の始動について―すなわち、どのように教会が機能すべきなのかについて多くのことを語っています。
パウロは彼らにビジョンを示しており、このビジョンは主が計画され、神が天と地を創造される前から、実現するようにと定められたものだったのです。
パウロが書き記した行間に、創世記は織り込まれています。視点をずらしてみると、イエス・キリストの福音によって、そして福音のために、それらが今どのように再編成されているかが見えてきます。
パウロは教会がどのように機能すべきかを示しています。
神の計画を明らかにし、神に栄光をお返しするために、私たちがどのようにそれを実践すればよいのかを発見するために、その世界に飛び込みましょう。

11－12 節　彼はどのようにするのか？

「[11] だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前は肉において異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。[12] その時、あなたがたはキリストなしに生き、イスラエルの国籍とは無縁で、約束の契約についてはよそ者で、世にあって希望を持たず、神もなく生きていました。」

パウロは、異邦人の信者に過去を思い起こさせることから始めています。パウロは「だから、心に留めておきなさい・・。」と言っています。以前はユダヤ人とは区別され、よそ者とされていたことを心に留めておきなさいということです。

パウロはエフェソ人にこう言います。それは私たちにも当てはまることです：

- あなたがたは「キリストなしに生き」ていた
- あなたがたは「イスラエルの国籍とは無縁」だった
- あなたがたは「約束の契約についてはよそ者」だった
- あなたがたは「世にあって希望を持たず、神もなく生きて」いた

ユダヤ人はアブラハムに起源を持ち、そしてアブラハムから割礼の慣習が始まりました。パウロはここで、アブラハムの割礼とその慣習に従った人々によって、創世記 17 章で最初の隔たりが始まったことを思い起こさせています。この歴史的な瞬間から、ユダヤの血筋に生まれていない者はすべてよそ者とみなされたのです。全ての異邦人は神から遠く離れた者とされ、神が差し出す良い物は全て神の民であるユダヤ人だけのものとなりました。これによって、それ以外の者はとても遠く離れた存在となりました。

イエスが、イスラエルの家の迷える羊のところにしか遣わされていないと言った後、ユダヤ人以外の人々を子犬と表現しており、当時当たり前のように彼らに向けられていた不幸な敵意に焦点を当てます。そしてイエスは、ユダヤ人ではない女の娘を癒やすことで愛と慈しみを示すことによって、その考えを打ち砕かれました。ユダヤ人は歴史的に弱い立場の者とみなされ、しばしば大きな不利益や迫害に直面しました。しかし、彼らがこの経験をしている間に、私たちは彼らの信仰、回復、そしてこの大きな逆境の中でもたらされた神の聖なる介入を見ることができます。彼らは、私たちの大祭司であるイエスのように、この世を神のもとへ導くために祭司として選ばれたのです。

イザヤ書 42:6「主である私は義をもってあなたを呼び　あなたの手を取り、あなたを守り　あなたを民の契約とし、諸国民の光とした。」

出エジプト記 19:5－6「5 それゆえ、今もし私の声に聞き従い、私の契約を守るならば、あなたがたはあらゆる民にまさって私の宝となる。全地は私のものだからである。6 そしてあなたがたは、私にとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの人々に語るべき言葉である。」

彼らは自身と神との関係の修復のみならず、神とこの世の全ての民との関係を修復させるはずでした。この世の人々を神と和解させる使命を与えられていましたが、この世は全く神に関心を示しませんでした。これは大変な仕事ですよね。この世はゆっくりと進み、地獄に落ち、イスラエルの人々は叫んだ。「各自、自分自身のことだけを考えよう！」

「岩」が現れるまで。

13－16節　しかし、‥今

「13 しかし、以前はそのように遠く離れていたあなたがたは、今、キリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。」

イエスはどうやったのでしょうか？
イエスが最初にしたことは、姿を現わすことでした。人間として来たのです。イエスの使命の最初の部分、どうやって成し遂げたかを見逃さないでください。イエスはただ地上に現れたのです。

人々のもとに出向くことが奉仕活動（アウトリーチ）の鍵です。奉仕活動（アウトリーチ）の定義とは、人々のもとに出て行くことです。誰のところにも行かなければ、外に（アウト）も届く（リーチ）もありません。自分自身にこう言い聞かせてみてください：「私が福音を携えて人々のもとに出て行かなければ、彼らに福音が届くことはない。」と。

そしてイエスが地上で行った２つ目のこととして、ご自身でそのことを取り扱われました。ご自身の血を流すことによってそれを成し遂げたのです。このことが何を意味するか分かりますか？イエスは司祭以上のことを行ったのです。なぜならその司祭こそが犠牲となったからです。
これこそが福音の素晴らしいところで、もう他に何かをする必要がないということです。

そしてこのようにして、イエスの御名によってあなたが司祭になるのです…自宅から、居心地の良い場所から、聖なる宮からこの世に出て行き、彼らの命のために既に犠牲が払われたことを知らせることによって。
これが私たちの使命です。あなたはそれを実行しますか。それを宣言する必要があります。

パウロはこう続けます：「14 キリストは、私たちの平和であり、二つのものを一つにし、ご自分の肉によって敵意という隔ての壁を取り壊し、15 数々の規則から成る戒めの律法を無効とされました。こうしてキリストは、ご自分において二つのものを一人の新しい人に造り変えて、平和をもたらしてくださいました。16 十字架を通して二つのものを一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼしてくださったのです。」

パウロは、異邦人に福音を届けるために神が選んだ人物だったということを心に留めましょう。パリサイ人として、パウロは神への熱意を表わす方法をユダヤ人に教えることに専念するはずでした。どうやってでしょう？　道徳的に正しく、儀式的に純粋な人生を送ることによってです。これは神の律法を綿密に守ることによって表わされるはずでした。パリサイ人として、パウロは当時正式に最も高慢で心の狭い国粋主義者の一人になっていたはずです。

しかし、キリストが来られた後のパウロはその正反対でした。その時から、パウロは神に選ばれた民のみならず、全ての人に福音を届けるようになったのです。

このような転換は、それぞれ個人のレベルにおいても、世界規模のレベルでも起こっているのを見ることが出来ます。キリストが来られた後、神はパウロにされたよりもはるかに大規模の再編成に取り組んでおられます。神は旧約聖書を遡るようにして計画的に働いておられます。パウロも、知識においてはこれを神のご計画としてはっきり見ていました。

今日読んだ15節は、一つの時代の終わりを表わしています。しかし、これは単に２世紀の神殿に見られた隔ての壁が取り壊されたことを意味するのではなく、神はそれをはるかに超える障壁を取り壊しておられるのです。

最初はアブラハムの契約を通して生じた、割礼による隔てでしたが、分断の壁はモーセによる契約にまで遡ります。パウロが、律法によって作られた壁の崩壊に言及しているのはこのためです。

その目的は、ユダヤ人も異邦人も「一つの新しい人類」として、私たちが教会と呼ぶものへ一つになることでした。これは異邦人がユダヤ人になるとか、ユダヤ人が異邦人になるという意味ではありません。どちらも全く新しいものへと造り変えられることを意味します。私たちはもうよそ者でも寄留者でもありません。私たちは「神の家の聖徒やメンバーたちの同胞」なのです。

私たちは、福音が神によって選ばれた一部の人々のためであるという思考の罠に陥らないように気をつけなければなりません。福音の定義は、良い知らせ、この知らせが全ての人のためであるということです！

使徒言行録 13:48「異邦人たちはこれを聞いて喜び、主の言葉を崇めた。そして、永遠の命を得るように定められている人は皆、信仰に入った。」

今週、娘とこんな会話をしました。

彼女は私にこう質問しました。「もし私が違う女の子だったとしても、私がかわいいって言える？」
私は「そうだね」と答えました。すると彼女は「じゃあ、パパは全ての女の子がかわいいって思うってこと？だとしたら私は特別じゃないよね。」と言いました。

私は「君は僕の娘だから、かわいいのは当たり前だよ。」と答えました。すると彼女は「じゃあ私が違う女の子で、パパの娘のままだったとしても、パパは私をかわいいと思うってこと？」と聞きました。

私は「もし君が違う女の子だとしたら、僕も違う父親ということになるよね。つまり僕は君の父親なんだから、君はやっぱりかわいいんだよ。」と言いました。

娘はとても混乱していました。なぜだか分かりますか。彼女は永遠を追い求めているのです。私たちが「選択」「選ばれること」「救い」について考える時と同じです。

パウロはこのように言っています：

ローマの信徒への手紙 1:16「私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。」

福音、良い知らせ、招きそのものが信じる者に働く神の力です。信じる事が、ではありません。パウロは隔ての壁を取り壊すことを続けます:

17－18 節　選ばれた者

「[17] キリストは来られ、遠く離れているあなたがたにも、また近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせてくださいました。[18] このキリストによって、私たち両方の者が一つの霊にあって、御父に近づくことができるのです。」

隔ての壁とは、この世とユダヤ人の間のものではなく、この世と神との間のものでした。この解決には、単にお互いとの水平方向の関係性を修復するだけでなく、まず最初に私たち全員が抱えている神との垂直方向の関係性の問題を修復することが必要でした。

パウロは、神に選ばれた民であるユダヤ人も、神の栄光を受けられなくなっていることを指摘しました。キリストは、私たちが御父との平和を持つときに、皆一つの霊にあって、御父の子供として一つとされることを知らせるために来ました。

ですからイエスは**私たちの**平和なのです。**全て私たちの平和です。**

イエス・キリストにある平和は、ユダヤ人同士、ユダヤ人とローマ人、ギリシア人や他の異邦人のグループとの間にあった敵意を破棄しました。初代の教会は、主にユダヤ人によって構成されていたことを思い出して下さい。教会として、ユダヤ人の枠を超えることに思いが及ぶまでに 10 年を要しました。最初の関門は、ペテロがローマの百人隊長コルネリウスとその一家のもとへ行くように命じられたときです。異邦人を象徴する、汚れた動物のもとに行くことをペテロは 3 度も拒否しました。ペテロがキリストを否むことは、世界の救いを否定することになります。キリストは、ペテロにそのことを見直してほしかったのです。

そしてペテロはこう言っています:
ペテロの手紙二 3:9「ある人たちは遅いと思っていますが、主は約束を遅らせているのではありません。一人も滅びないで、すべての人が悔い改めるように望み、あなたがたのために忍耐しておられるのです。」

この箇所では誰が、誰を待っていると書かれていますか？

質問：あなたの神学理論は、聖書で書かれていることと一致していますか。なぜなら、あなたの神学理論は、教会がどのように働き、機能するべきかというあなたの考えを方向付けるからです。

もし人々がキリストのもとに来たり、キリストのもとに何度も戻って来たり、ということができないとしたら‥聖書が語ることと一致しない領域があるということです。
イエスは十数回、ご自身のもとに来なさい、来続けなさいと言っています。それがイエスの望んでいることです。イエスはいつもあなたに来て欲しいのです。

先日、私の長男から、成功したクリスチャンになるとはどういう意味だと思うかというような質問をされました。努力と喜びとの間には特に緊張関係はありません。
「成功しようが、負けようが、全てのことは、キリストに向かうべきだ」と私は言いました。

・何のため生きるのか？―キリストのため。
・死においてでさえも、誰のところに助けを求めるのか？―キリストに。

誰もが自分自身のためにではありません。生も死も全てキリストについてです。
全てはキリストのうちに、キリストのために再編成されているのです。

有名な曲があります。“All for one, and one for all!”（一人はみんなのために、みんなは一人のために）
イエスはこのように生きて、死なれました。イエスは神のために生き、神のために死に、神に叫び求めました。全てはあなたのために。
これが成功したクリスチャンの理想の姿です。
覚えておいてください。垂直方向の関係を修復すると、水平方向の関係も修復できるのです。

19－22 節　まだあるの？

「[19] ですから、あなたがたは、もはやよそ者でも寄留者でもなく、聖なる者たちと同じ民であり、神の家族の一員です。[20] あなたがたは使徒や預言者から成る土台の上に建てられています。その隅の親石がキリスト・イエスご自身であり、[21] キリストにあって、この建物全体は組み合わされて拡張し、主の聖なる神殿となります。[22] キリストにあって、あなたがたも共に建てられ、霊における神の住まいとなるのです。」

イエス・キリストによって、人々を分断していたアブラハム契約、モーセ契約を超えて主が働かれた今‥まだ何かあるのでしょうか？
はい、パウロは、もう一つの隔たりが覆されたことを明らかにしています。今度は、アブラハムよりも一つ前の章‥創世記 11 章のバベルの塔です。この物語を覚えていますか。

教会の新しい一致について理解するには、バベルの問題について理解する必要があります。洪水の後、人類は新しいスタートを切りました。創世記 11 章に、「全地は、一つの言語、同じ言葉であった。」とあります。これには無限の可能性が示されていますが、私たちはすぐに、この可能性が毒に変わるのを見ます。彼らの動機は、創世記 11:4 に記されている「さあ、我々は町と塔を築こう。塔の頂は天に届くようにして、‥。」世界一高い建物を築くことではなく、霊的な反逆を意味しました。これは人類が自分の思い通り通りに神のもとに上ろうとする姿です。彼らの結束された力、そして自分自身の栄光についてです。彼らは神の御名の栄光に関心はなく、彼ら自身の名が崇高たるものとされることを望んでいます。ですから彼らは「‥名を上げよう。そして全地の面に散らされることのないようにしよう。」と言っています。

彼らの一致は神の御名のために共有される愛に基づくものではなく、彼ら自身に基づいていました。神はその反逆を見て、彼らを全地に散らされました。神は、私たちの言語や文化を抹消するのではなく、ペンテコステでの聖霊の降臨から始まり、福音を通して彼らをあがなうことで、バベルの呪いを覆します。

神は、ご自身の塔である「聖なる神殿」を、レンガやモルタルによって作られた天に届くための塔ではなく、世界中からの生きた石によって、最初の岩、隅の親石であるイエス・キリストご自身を土台として建てられるのです。そして神の建物は活発で生き生きとしていなければなりません。

結論

私が最初に日本語の「教会」という漢字を学んだときのことを覚えています。教会の「教」は教えるという意味で「会」は集う、集合するという意味だと学びました。つまり教会は、学ぶために集う場所ということです。

TBC に来る前の私なら、「そうだね、それは教会の正しい描写だね。私もそう思うよ。」と言っていたかもしれません。あなたはどうですか？それはあなたの教会に対するビジョンですか。あなたはただここに来て、座って、学んで、家に帰る。あなたの習慣の積み重ねがあなたを形作る。

私は TBC での経験において、複数の場所で複数の礼拝が献げられ、50 以上の国の人々が、55 以上のミニストリーで一つとなり、多数の国籍やその他のフェローシップが持たれ、70 以上のスモールグループが毎週集い、地域の、そして世界の宣教チーム、コンサート、カンファレンス、子供のミニストリー、130 人以

上の子供が集うVBSを目の当たりにした結果、座って、学ぶー
それは私には教会ではないと思いました。

教会は建物ではなく、それによって定義されるものではありません。教会は動的なものであり、それはキリストに従う人々の活動です。

2つめの漢字の意味、「集う」は正しいですが、私たち全員に内在する神の霊によるものです。これらが、互いの愛と神の愛のための活発な神の霊を形づくります。

これらは全て、イエスの名によって、イエスの名を知らせるために行われるのです。

何が必要か？

キリストに似た性質です。つまり：
あなたは互いのためにそこに出向き、一つになる必要があります。
私たちは積極的に自分の信仰や愛を誰とでも、全ての人に対して分かち合う必要があります…壁を作らずに。
私たちは全てのこと、自分や教会について、神のために生き、神に依り頼む必要があります。

神は決して私たちを見捨てず、置き去りにしないという神の約束を覚えておきましょう。旧約、新約どちらにも書かれている約束であり、イエスもそれを心に留め、信じました。
それを黙想してください。とても重要な約束です。

神は言いました。「私は決してあなたを見捨てず、決してあなたを置き去りにはしない」

教会の皆さん、神の栄光のために、イエスの名の栄光のために生きましょう。

招き

あなたは遠く離れ、絶望し、神との隔たりを感じていますか。良い知らせは、今日あなたのためにあります。

マタイによる福音書 11:28「イエスは言いました。すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。」

あなたの人生を、唯一の真の岩、イエス・キリストの上に建ててください。

もしあなたがイエス・キリストによる永遠の命を信じるならば、あなたの罪は赦され、あなたはもうよそ者ではなく、神の家のメンバーになります。

あなたはイエスのために生き、全てにおいてイエスが与えられます。

あなたはTBCに居場所を見つけ、今日から生ける神を霊とまことによって礼拝することができます。

覚えておいてください。イエスは「私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。」と言っています。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SGレッスンのPDF

https://t-b-c.us/sg4025jp

★クラス 210
スモールグループについて知ろう
10月4日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ラングホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
10月12日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ラングホール(B1)
参加条件: クラス201まで修了した、TBCメンバーの方

★クラス 101
教会員になるためのクラス
11月8日(土)1:00pm – 5:00pm
場所: ラングホール(B1)
参加条件: どなたでも

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes